PDCA 事務事業名 学校給食事業 一	<u>令和2年</u>	度(令和元年	萁実施事業分)事務事業評価評価票						27-052
②	PDCA	事務事業名	学校給食事業	部課等名			学校給	担当	鳥居
### 2000			 音· 第5章 育ち合い#	<u> </u> - 生 を 進 め る		ᄪᆿ		小旅寺	Z0=Z401
### 2	Р								
個別無無: ①安全安心な結合の提供 個別無無: ②安全安心な結合の提供 一	•		基本施策: 1. 義務教育						
個別能等: ①安全安心な給食の提供	総		単位施策: (6) 学校給食の充実						
日的を達成	合		個別施策: ①安全安心な給食の提供						
日的を達成 お食用物資を見積もり合わせにより安価でかつ安心・安全な食材を購入する。また、遺 で表しための 手段・活動 食の提供に努めていく。 29年度 30年度 元年度 単位 193 194 192 193 175 日 193 194 192 日 193 194 192 日 193 194 192 日 193 194 192 日 193 175 日 194 192 193 175 日 193 175 日 194 192 193 194 192 193 194 192 193 194 192 193 194 192 193 175 194 192 193 19	の	根拠法令等	_						
大きい 1978		対象・目的	保護者負担の食材料費を、安価でかつ安心安全な食材を購入する。						
□		するための 手段・活動	伝子組み換え食品の使用禁止及び加工品の食品添加物のチェック等を行い、充実した給						
記動結果 192 193 175 日 175			活動実績			29年度	30年度	元年度	単位
記動結果 192 193 175 日 175	D					193			日
事業費 468820 466624 426767 千円	前					192	193		日
事業費 468820 466624 426767 千円			3						
大件費 4603 4594 4818 1千円									
活動単位当たりのコスト 29年度 30年度 元年度 単位 192 193 175	度	│ 活動結果						4581	千円
日標値 50.0 50.0 50.0 7% 実績値 日標値 日標 日標	о О		V = 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		総事業費				
日標値 50.0 50.0 50.0	活			•					
日標値 50.0 50.0 50.0 7% 実績値 日標値 日標 日標	動		①美施日剱当たりの総事業質	<u> </u>		2466	2442	2465	十円
日標値 50.0 50.0 50.0 50.0	結								
日標値 50.0 50.0 50.0 50.0	果					29年度	30年度	元年度	単位
日標値 50.0 50.0 50.0 50.0	と見ら	成果			宇结仿				+12
日標値 50.0 50.0 50.0 50.0									回
日標値 50.0 50.0 50.0 50.0					目標値	193	194	192	
日標値 50.0 50.0 50.0 50.0	ħ		目相		実績値	28. 81	29. 40	33. 06	-%
大きい 大きい で					日煙値	50.0	50.0	50.0	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本						00.0	00.0	00.0	
公要性 有効性 効率性 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対	果								
観点別評価		観点別評価	N = 14					+1 + +4	
親点別評価 ②市民ニーズ 高い ⑤成果向上の余地 次対象・手段の変更 ③休廃止の影響 大きい ⑥類似事業の有無 ない ⑧受益者負担適正化余地 8 事業の 評価・課題 給食物資の地産地消率については、昨年度実績と比較すると、若干増加した。引き続き地産地消の推進を図っていく。なお、給食実施回数は、台風により1回中止したことや、3月から新型コロナウィルス感染症拡大防止による臨時休業措置により、大幅に減少した。	C								
3 休廃止の影響 大きい ⑤類似事業の有無 ない ⑧受益者負担適正化余地	課題		①市の関与の妥当性 妥当				⑦コスト	削減余地	0
B *** *** *** *** ** ** ** ** ** ** **							@ -		手段の変更
評価・課題									
マー・			給食物資の地産地消率については、昨年度実績と比較すると、若干増加した。引き続き 地産地消の推進を図っていく。なお、給食実施回数は、台風により1回中止したこと や、3月から新型コロナウィルス感染症拡大防止による臨時休業措置により、大幅に減						
学校給食の実施にあたっては、食育の観点から地産地消の推進を積極的に推進していく。今後も、経済的かつ安心・安全な地元産食材をいかに購入できるか流通実態を研究するほか、学校給食週間等でより多くの食材を使用することにより、引き続き児童生徒への食育や地産地消の推進に取り組む。	課題解決のための目		拡充推進						
のためのための目標 成果指標 目標値 単位 の目標目 ①学校給食実施回数 194 回 ②給食物資地産地消比率 50 %			く。今後も、経済的かつ安心・安全な地元産食材をいかに購入できるか流通実態を研究 するほか、学校給食週間等でより多くの食材を使用することにより、引き続き児童生徒						
ための目標目 ①学校給食実施回数 194 回 ②給食物資地産地消比率 50 %		令和2年度	成果指標					目標値	単位
の目標目 ②給食物資地産地消比率 50 %			①学校給食実施回数						回
標			②給食物資地産地消比率				50	%	
	標								